

令和 5 年度（2023年度）学校教育自己診断

＜保護者回答＞

	質問	肯定的	否定的	わからない
①	子どもは学校に楽しく通っている。	84.2%	14.4%	1.5%
②	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	71.0%	20.0%	8.9%
③	先生は子どもを理解している。	77.9%	11.7%	10.4%
④	学校は、悩みの相談などを親身になって応じてくれている。	68.9%	13.3%	17.9%
⑤	学校は、仲間づくりを大切にし、いじめのない学校（学級）づくりをすすめようとしている。	65.7%	10.4%	23.9%
⑥	学校は、子どものよいところや頑張りをよく見て、励まし指導してくれている。	80.1%	9.1%	10.8%
⑦	学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。	61.2%	15.9%	22.9%
⑧	学校は子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	59.7%	9.7%	30.6%
⑨	学校は、安全、防災、防犯についての意識を育てようとしている。	69.4%	8.7%	21.9%
⑩	食育だより等を活用して、子どもと食に関する話をしている。	57.0%	34.0%	9.0%
⑪	学校は、保護者や地域の人が参観する機会を設けている。	83.4%	8.4%	8.2%
⑫	学校は、通信やメール等を活用して、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	83.2%	11.9%	4.9%

＜学園生回答＞（5～9年生）

	質問	肯定的	否定的	わからない
①	学校へ行くのが楽しい。	82.3%	16.2%	1.5%
②	授業はわかりやすく楽しい。	80.4%	19.2%	0.4%
③	先生は私たちの意見や考えを大切にしてくれている。	90.2%	5.3%	4.5%
④	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	78.7%	11.4%	9.9%
⑤	先生はいじめなどの私たちが困っていることについて真剣に対応してくれている	79.6%	4.9%	15.5%
⑥	先生は私たちのよいところやがんばりをよくみて、はげまし指導してくれている	84.9%	8.7%	6.4%
⑦	学校は、特色のある学習活動を体験し取り組ませてくれている	84.8%	8.7%	6.5%
⑧	人権（様々な差別や権利など）について学ぶ機会が多い。	76.9%	11.4%	11.7%
⑨	学校で震災や火災が起こったとき、どう行動をしたらいかが知らされている。	93.6%	4.5%	1.9%
⑩	食育だより等を活用して、家で食に関する話をしている	41.1%	51.3%	7.5%
⑪	保護者や地域の人が自分たちの活動を見に来る機会が多い。	58.5%	30.2%	11.3%
⑫	通信やお便りなどは興味深く、わかりやすい	66.8%	21.5%	11.7%

●学園生の回答の多くが肯定的回答が80％を超えている状況の中で、6つの項目が80％を下回っています。

④⑤については、概ね80％近くではありますが、新しい学校になり新しい職員との関係性を構築する中で少し低くなったと感じています。今後、子どもたちにしっかり寄り添いながら、関係性を高めていけるよう取り組んで参ります。

⑧については、道徳や様々な取り組みを行ってきましたが、学校全体の中でカリキュラム等の整理が必要であると感じています。

⑩については、今年度、栄養教諭の配置があり、様々な食育の取り組みが行われてきましたが、低学年で実施することが多かったため、5年生以上のアンケートでは低くなっていると思われます。学校全体での食育の計画を見直していきます。「食育だより」もHPに掲載されていることも、もっと周知が必要であると感じています。

⑪については、保護者の肯定的回答が83.4％であることから、子どもたちはもっと保護者に観にきてほしいと感じてと思われます。そういう機会を次年度は増やしていきます。

⑫については、保護者の肯定的回答が83.4％であることから、子どもたち向けの内容や表現の工夫が必要であると思われます。

●保護者の回答に、「わからない」の回答が多いのが目立つのは、⑦の回答において子どもたちは新しい取り組みを体験できていると感じているが、保護者の肯定的回答が、61.2％（わからないが22.9％）であることから、学校の情報発信や取り組み自体を参観いただく機会をもっと設ける必要があると考えています。

●保護者の記述式回答（学校教育目標「自ら考え、行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる子どもをそだてる」を実践するために、さらに取り組みを進めるには）において、学校行事（運動会や学習発表会など）についての記述が多くありました。これは、保護者の皆様が子どもたちの頑張っている姿をたくさん観覧することを望んでおられると思われることや、そのことが子どもたちのやる気にもつながると感じていると思われます。上記にもありますが、次年度はできるだけ学校にお越しいただける機会を設定していきたいと考えています。その他にも、異学年交流や縦割りでの取り組み、自治活動の推進など多くの意見をいただきました。開校初年度であるため、統合前の学校とは様々な取り組みにおいて変化があり、丁寧な周知ができていなかったことをおきな反省点と捉えています。次年度も、保護者の皆様のご意見を聞きながら、新しい学校の仕組みの中で、子どもたちの成長につながる取り組みを教職員一同で進めて参ります。